

2023 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」				
題名・副題	植物ジュニアレンジャー活動(3) 海岸植物の工夫は？				
月日・時間	2023年6月24日(土) 10:00~13:30				
開催場所	県立観音崎公園				
部会・講師名	生物部会 吉岡嗣二郎	参加数	9名	講師数	4名
写真・画像					
	砂浜で「トビムシ」が、はねる様子を観察		「ハマカンゾウ」の花はキレイ		
					
	灯台も東京湾の風景もきれいでした		このパークセンターは、元弾薬庫だった		
成果解説	<p>自然環境の実物を観察し知ることにより、自然環境の豊かさとは何かを考え、持続可能な環境の維持とそれを伝える植物ジュニアレンジャーを育てることが講座の目的です。</p> <p>今回は、県立観音崎公園において海岸植物の工夫をテーマに観察と調査を進めました。海と陸地が接する場所は、自然環境が異なることから、エコトーン(緩衝地帯)として豊かな生態系が生まれます。始めに、砂浜においてピョンピョンはねる「トビムシ」と、日本で最も長い植物名の「アマモ(別名:リュウグウノオトメノモトユイノキリハズシ)」を見てもらいました。</p> <p>次に、海岸植物にはどのような工夫があるか、講師の説明を聞きながら観察しました。水分をため込む「タイトゴメ」、風雨に強い「ラセイトソウ」、根が強く葉の幅が広い「ハチジョウススキ」、葉が巨大な「カミヤツデ」などを観察しました。なかでも「ハマカンゾウ」、「ハマナデシコ」の美しい姿に歓声が聞かれました。</p> <p>午後は灯台やたくさんのお城を見てもらいました。パークセンターに戻って、植物ジュニアレンジャーを目指して今回観察した成果について発表をしてもらいました。</p>				